

【概要】

2021年度住宅ローン借換えの実態調査結果

I 調査の概要

本調査は、2021年4月～2022年3月に住宅ローンの借換えをされた方を対象に、借換えによる住宅ローンの金利タイプの変化などについて、インターネットによるアンケート調査を実施し、その結果を取りまとめたものです。

本調査は、2007年度から継続して実施しております。

(参考) 調査実施時期：2022年4月28日～5月6日、回答数：998件

II 調査結果の主なポイント

<> は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 借換え後の金利タイプは「固定期間選択型」が増加、「変動型」及び「全期間固定型」は減少 <p. 3>

【借換え後の金利タイプ構成比】

- ・「変動型」：借換え後 49.2% (2020年度調査 50.2%)
- ・「固定期間選択型」：同 43.9% (同 41.5%)
- ・「全期間固定型」：同 6.9% (同 8.3%)

2 借換えを行った理由は、「金利が低くなるから」、「返済額が少なくなるから」、「今後の金利上昇や毎月の返済額増加が不安になったから」が上位 <p. 6>

【借換えを行った理由】

- ・借換えを行った理由は、借換え後の全ての金利タイプにおいて「金利が低くなるから」が最も多く、次いで「返済額が少なくなるから」となった。
- ・一方、借換え後の金利タイプが固定期間選択型及び全期間固定型では、「今後の金利上昇や毎月の返済額増加が不安になったから」とする回答の割合が変動型よりも高い。

3 借換えによる毎月返済額の減少分の使途は、「生活費」、「教育資金」が上位 <p. 12>

【借換えによる毎月返済額の減少分の使途】

- ・借換えによる毎月返済額の減少分の使途は、「生活費に充てた」の割合が最も高く、次いで「教育資金に充てた」となった。